

まちづくり市民研究機構による政策立案

石川県金沢市

人口：441,212 人

面積：467.77 km²

取組の概要

市民が主体的に参加し、専門のディレクターの指導・助言を受けながら、自主運営で、地域にあった政策の研究や発表を行う。研究テーマについては、市民に身近な公私協働のもと取り組むべき課題や、将来の都市のあり様にも関わるような事項とする。

取組の紹介

1 取組の背景

- ・ 金沢固有の自然や歴史、文化を礎としながら、それらを磨き高めると同時に、都市基盤の充実を図り、市民本位、市民主体の潤いのある市民生活をいっそう豊かで安定したものとしていくため、平成7年に「金沢世界都市構想」を策定した。
- ・ これらの実現に向け、市民が自主的に参画し、市民主体による個性豊かで創造的な都市政策の研究を行い、研究成果を市政に反映させるとともに、地域におけるまちづくりのリーダーとなる人材の育成を図ることを目的に「まちづくり市民研究機構」を設立した。

2 取組の具体的内容

(1) 設置年月日

平成15年6月17日

(2) 構成

公募の「市民研究員」と学識経験者の「ディレクター」で構成

- ・ 第1期（H15.9～H16.8） 市民研究会 9グループ 市民研究員 70人
- ・ 第2期（H16.9～H17.8） 市民研究会 8グループ 市民研究員 75人
- ・ 第3期（H17.9～H18.8） 市民研究会 9グループ 市民研究員 89人
- ・ 第4期（H18.9～H19.8） 市民研究会 8グループ 市民研究員 70人

(3) 事業内容

- ・ 市民研究会（テーマごとに設置）による研究活動
グループ研究会（月2回程度）、フィールド調査、先進地視察等

- ・ 報告書の作成
 - ・ 研究成果発表会、市民フォーラムの開催
- (4) 研究期間
1年間（9月～翌8月）
- (5) 事業費
11,000千円（平成18年度当初予算）
- (6) 研究テーマ

第1期	① 文化財としての橋等の調査研究
	② まちなか再生のためのまちづくり
	③ アートからのまちづくり
	④ 金沢型創造産業を考える
	⑤ 情報化社会を実感できるまちづくり
	⑥ 金沢コミュニティを活かした福祉と教育の連携
	⑦ 金沢箔をまちづくりに生かすためのデザイン研究
	⑧ 健康増進のための環境づくり
	⑨ 金沢「環境都市」構想
第2期	① 世界都市としての金沢らしさの創出
	② まちなか再生のためのまちづくり（その2）～まちなか定住促進～
	③ 金沢型創造産業を考える（その2）～経済と文化の融合を目指して～
	④ 情報化社会を実感できるまちづくり（その2） ～誰もが住みやすいバリアレス・ストレスフリーな金沢を目指して～
	⑤ 金沢コミュニティを活かした福祉と教育の連携（その2） ～福祉と教育の人づくり～
	⑥ 金沢箔をまちづくりに生かすためのデザイン研究（その2） ～まちなかの賑わいづくり～
	⑦ 金沢「無煙環境作り」
	⑧ 金沢「環境都市」構想（その2）～交通と省エネの研究～
第3期	① 金沢らしさの具体化に関する研究
	② 市民・住民の参加・主体による個性的で豊かなまちづくり
	③ 市民による金沢文化の継承と発展 ～地域における文化体験学習／教育を考える～
	④ 金沢型創造産業による都市再生 ～新幹線開業をみずえたまちづくり～
	⑤ 金沢世界都市におけるIT革新した産業未来像の探求
	⑥ 金沢型地域福祉ネットワークの構築 ～高齢期の安心を支える地域づくり～
	⑦ 金沢アート創造計画～金沢からユニークなアートを提案する～
	⑧ 無煙環境都市、金沢をめざして
	⑨ これからのライフスタイル（暮らし方）の創造 ～省エネと経済の両立をめざした＜まちづくり＞と交通政策～

第4期	① お年寄りから子どもまで市民に幅広く利用される公園の研究
	② 市民・住民の参加・主体による個性的で豊かなまちづくり(2)
	③ 市民による金沢文化の継承と発展(2) ～地域における文化体験学習／教育を考える～
	④ 北陸新幹線の開業を見据えた金沢型クリエイティブ産業の振興 ～現代アート・ファッション都市・金沢へ～
	⑤ 知識社会への産業政策と情報戦略
	⑥ 金沢らしい介護保険と「地域密着型サービス」のあり方を考える
	⑦ 金沢アートセンター計画
	⑧ 人と自然にやさしいまちづくり・「コンパクトシティ」を目指して ～安全で快適な自転車交通と自然エネルギーの研究～

3 取組の効果

- ・ 第1期の研究成果の内、8事業（22,140千円）が平成17年度予算化
- ・ 第2期の研究成果の内、10事業（94,470千円）が平成18年度予算化
- ・ その他5事業 ①第1期の研究が翌年度予算化2事業
②提案内容に関連した事業として予算化3事業

【提案政策反映事業】

（平成17年度予算）

研究テーマ	文化財としての橋等の調査研究	
政策反映 事業名	歴史的用水復元整備事業	3,000千円
	藩政期からの土木遺産である歴史的な用水の復元をめざし、基礎調査に着手	
	文化財愛護推進員養成事業費	300千円
	文化財の発掘、保存、継承を目的に公募、養成する文化財愛護推進員養成事業に「土木遺産コース」を新設	
研究テーマ	まちなか再生のためのまちづくり	
政策反映 事業名	かなざわ町家継承・活用促進事業費	5,000千円
	町家の活用を促すため、市民意識調査やシンポジウムを実施	
	かなざわ町家情報バンク整備費	300千円
	町家に関する情報を収集し市民に提供	
	ICカード利用者満足度調査費	3,000千円
バス利用者を対象にICカード利用調査を実施		
研究テーマ	アートからのまちづくり	
政策反映 事業名	アートアベニュー「秋のオフィスアート」事業費	3,000千円
	金沢駅から金沢21世紀美術館の通り沿いのショーウィンドウや空フロアを活用し、学生たちによる共同芸術作品ライトアップして展示	
研究テーマ	金沢コミュニティを活かした福祉と教育の連携	
政策反映 事業名	総合巡回相談事業費	5,540千円
	小・中学校、保育所、幼稚園、児童クラブに出向き、円滑な集団づくり等を支援するための総合的な巡回相談を実施	
研究テーマ	金沢「環境都市」構想	
政策反映 事業名	「金沢市における市民参加及び協働の推進に関する条例」啓発推進費	2,000千円
	環境都市をめざすにあたって、住民の合意形成の仕組みづくりが大切との提案を受け、住民参加のまちづくりを進めるための啓発パンフレットの作成や市民フォーラム等を開催	

(平成 18 年度予算)

研究テーマ	世界都市としての金沢らしさの創出	
政策反映 事業名	自然環境を守り育てる人づくり事業費	300千円
	市民の手作りによるビオトープの維持管理を通じ、自然環境の保全に携わる人材を育成	
	「山村風景」再発見事業費	370千円
	「里山景観」を再発見するため、農山村の持つ貴重な風景を対象としたフォトコンテストや 絵画コンクールを実施	
研究テーマ	まちなか再生のためのまちづくり(その2)～まちなか定住促進～	
政策反映 事業名	「都心賑わい回廊」形成事業費	500千円
	学生サテライト教室の開設	
	武蔵地区総合情報誌発刊事業費	1,500千円
	武蔵地区のエリアマップや商店街情報などを掲載した情報誌の発行に対し助成	
研究テーマ	金沢型創造産業を考える(その2)～経済と文化の融合を目指して～	
政策反映 事業名	金沢21世紀美術館カフェコーナー設置費	7,000千円
	気軽に訪れ楽しく交流できる場としてカフェコーナーを設置	
	ライブ&ファッション金沢ウィーク開催費	80,000千円
	本市のファッション産業を国の内外に発進するため、金沢21世紀美術館を中心に市内一 円で、繊維や工芸品の見本市やファッションショーなどの各種イベントを展開	
研究テーマ	情報化社会を実感できるまちづくり(その2) ～誰もが住みやすいバリアレス・ストレスフリーな金沢をめざして～	
政策反映 事業名	玉川こども図書館(仮称)プレイイベント開催費	3,500千円
	開館前プレイイベントとして、必要な情報を判断し、表現する力(情報リテラシー)を育てる 講座等を開催	
研究テーマ	金沢箔をまちづくりに生かすためのデザイン研究(その2)～まちなかの賑わいづくり～	
政策反映 事業名	もてなしドーム賑わい創出事業費	200千円
	もてなしドーム地上部のディスプレイについて、民間主体による金沢らしいデザインや設 置基準を検討	
研究テーマ	金沢「環境都市」構想(その2)～交通と省エネの研究～	
政策反映 事業名	市民エコプロジェクト推進事業費	1,000千円
	環境問題解決に具体的活動目標を定めて取り組む団体に対し、アドバイザーの派遣や環 境関連物品の支給等の支援を実施	
	公共交通市民啓発事業費(市民エコプロジェクト交通部門)	100千円
	自家用車から公共交通機関等への転換を進める市民エコプロジェクト団体の取り組みに 対し助成	

(その他①)

政策反映 事業名	ICカードポイントシステムの導入	1,400千円
	公共交通の利用促進に向けて、バス利用や商店街での買い物時にポイントを付与するシ ステムの導入を支援	
政策反映 事業名	児童クラブ運営費	308,046千 円の一部
	児童クラブ補助指導員の増員	
	・児童数80名以上のクラブに1名増員 ・障害児を受け入れているクラブに1名増員	

(その他②)

政策反映 事業名	金沢農業大学校運営費	3,500千円
	農業の発展をめざし、新たな担い手を育成するための大学校を開設	
政策反映 事業名	歩けるまちづくり推進事業費	1,000千円
	堅町商店街において、協定締結効果の検証を実施	
政策反映 事業名	コミュニティ空間保存活用事業	800千円
	広見などのコミュニティ空間を次世代に保存・継承することにより、地域コミュニティを醸成	

4 取組中の課題・問題点

- ・ 研究成果を市の政策へ反映させる仕組み
研究成果は市民の目線に立った新しく個性的なものだが、単なる要望にとどまっているものもあり、これらを政策にまで高めていく必要がある。
→ 課題解決のための新たな取り組みとして、研究活動の各段階（課題の抽出過程、施策の検討・形成過程等）において、関係部局の職員との意見交換会を開催することで、政策提案の実現性を高める。

5 住民の反応・評価

- ・ 市民フォーラムの開催には多くの市民の参加があり、また、研究テーマの募集に際しても、自分自身の問題として意識し、積極的な意見を頂戴している。
 - (1) 市民フォーラム概要
テーマ「公私協働による金沢のまちづくりー市民研究機構に期待するものー」
参加者数 約 200 名
 - (2) 研究テーマの応募件数
第1期 19件・第2期 30件・第3期 47件・第4期 25件

6 今後の課題

- ・ 市民研究員の継続的な確保
→ ホームページのリニューアルや各グループの活動報告を掲載するなど、活動内容が見えるよう広報活動を充実させるとともに、各種団体へ募集要項を配布し、学生、経済界、女性、NPO関係者など、未開拓な部分へのアプローチを進めている。
- ・ 市民研究員の「まちづくりのリーダー」としての活用方策
→ 各種委員会、検討会の委員への登用など

7 今後取り組む自治体に向けた助言

- ・ 市民研究機構は、市の政策研究所とは全く別の組織であり、研究室の提供や事務処理以外、市は活動について一切関わらず、市民の自主的な活動として行われている。
- ・ 市民の目線から見た個性的で斬新なアイデアが施策に反映される、政策形成の新しい手法であり、まちづくりにおける住民と行政の協働のあり方のモデルとして、期待されている。

(参考) 当該取組内容の関連ホームページ

<http://www.city.kanazawa.ishikawa.jp/shiminkikou/index.htm>

担当部署：都市政策局企画課